

実験2 刺激を受けとってから、反応するまでの時間

目的

準備

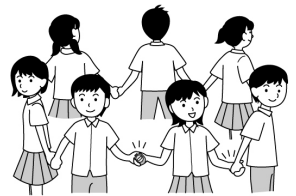
□ものさし(30cm) □ストップウォッチ

方法A ものさしを使う方法

- ① ア(落とす役)とイ(つかむ役)の2人1組になる。
- ② アは合図なしでものさしを落とし、イはものさしが動いたらすぐにこれをつかむ。
- ③ 教科書p.35のグラフから、イがものさしをつかむのにかかった反応時間を求める。

方法B 手をつないで行う方法

- ① 背中合わせで手をつないで輪をつくる。
- ② 最初の人は、ストップウォッチをスタートさせると同時にとなり人の手をにぎる。
- ③ 手をにぎられた人は、さらにとなりの人の手をにぎっていく。
- ④ 最後の人は、最初の人からすぐにストップウォッチを受けとっておき、手がにぎられたらストップウォッチを止める。
- ⑤ 1人あたりにかかった時間を求める。



結果A

回	落ちた距離 [cm]	反応時間 [s]
1		
2		
3		
平均		

結果B

回	全体の時間 [s]	1人あたりの 時間 [s]
1		
2		
3		
平均		

考察

.....

.....

.....

.....

まとめ

.....

.....